～鹿児島県農業青年クラブ連絡協議会（4hクラブ）会長として地域を盛り上げる～

小林　拓暉さん（２４才）



所在地：鹿児島県薩摩川内市

＜経営概要＞

●作物及び面積

水稲８ha、ゴボウ2.7ha、白ねぎ1.2ha

ショウガ50a



＜農業をやろうと思ったきっかけ＞

・４年前に鹿児島県立農業大学校を卒業後、薩摩川内市の支援も受けながら、新規就農者として就農。

・両親からのアドバイスも受けながら、独立して災害もに強い複合経営を目指している。

・現在、農業大学校の同期を従業員として雇用して、協力しながら安定した経営に取組んでいる。

＜経営面で苦労したことやその苦労を克服した取組＞

・今年は夏に降水量が少なく、水やりに苦労した。

・２年目に白ねぎで豪雨被害を受け３割程度しか収穫できなかった。収入保険に加入していたお陰で助かった。保険料は高いが保険は大事。

・リスク管理のため、単一作物だけでなく、水稲は主食用米、加工用米、品種も極早生から晩生まで４品種、ゴボウは夏作、冬作、また、出荷先も青果市場とは別に加工用卸と契約販売するなどリスク分散を行っている。

＜今後の構想や夢＞

・来年法人化を計画しており、そのため現在準備中である。

・今までは規模拡大を図ってきたが、現在は経営の足腰を強くする時期だと考えており、経営の安定化に重点を置いている。

＜鹿児島県の農業を盛り上げるには＞

・５月に鹿児島４ｈクラブの会長に就任した。全国の若い農業経営者と意見交換をすることができ、色々と自分の経営に参考となることも多く就任して良かったと感じている。今後は、鹿児島の若い仲間たちにも情報共有していきたい。



収穫の時期を迎えた水田



栽培中の白ねぎ



栽培中のゴボウ



工夫次第で収益が上がるので、収益を増やすには農業は無限大です。



出荷中のショウガ